

「健康づくり」推進

今年度、健康経営優良法人に選定

意匠性金属板用保護フィルムなどの加工、販売を手掛ける城山（本社・名古屋市長東区、社長・加藤隆介氏）は近年、社員の健康づくりを狙った全社的な取り組みを進めている。加藤社長をはじめとする役員、社員が活動に携わり、幅広いプログラムを展開したことなどが評価され、健康経営優良法人に認定された。在宅勤務を取り入れる中でメンタルケアにも努めながら、さらに働きやすい職場環境を追求する方針だ。

社会環境の変化に合わせ活動展開

城山はステンレス、アし、加工販売する独立系ルミをはじめ各種鋼板用 商社。名古屋守山区に保護フィルムを在庫 フィルム加工センターを置き、顧客ニーズにきめ細かく対応する。

社員の健康増進に向け、同社はかねて会社負担によるインフルエンザの予防接種（家族も補助）、ガムの配布や外来紹介を通じた禁煙サポート、社内報を通じて体に良い食材の紹介などを推進してきた。

3〜4人が一組の「ユニット」を組み、チームごとに健康につながるテーマを決めて実行する試みでは、内容に応じて会社が費用を補助する。瞑想、糠床を配る「菌活」といったユニークな案も実行に移している。



全拠点をモニターで行う朝礼時の体操

加藤社長が先頭に立ち独自の取り組みを進めた結果、健康診断の数値が改善するケースが増えるなど効果が出始め、社内での健康づくりに対する意識も高まった。こうした実績が評価され、今年度の健康経営優良法人（中小規模法人部門）に選出された。

新型コロナウイルスの影響で在宅勤務を行う社員がいる中でも、リモートでの体操を行って相互交流を促進。心身のケアにつなげている。今後も変化に合わせた活動を展開し、従来以上に社員がそれぞれの健康を尊重するムードを醸成したい考えだ。

